

現役時専修大不合格。高卒本科コースで2ランクUP合格、GMARCH突破！

法政法 学習院法 怒涛の合格！

高3夏に野球部引退、受験勉強を必死に追い上げるが結果は日東駒専不合格。ランク下の大学にはなんとか合格したが磯谷の気持ちは晴れなかった。

『俺はまだできる』

磯谷の浪人生活は誰よりも早く2月にスタートした。3月から、英語は文法、国語は基礎的な語彙、日本史は基礎事項の習得と、基礎を重点的に固めた。その甲斐もあり、6月の共通テスト模試では早くも英語8割、国語7割5分、日本史7割に達した。



磯谷駿介
(松山高校卒)

天王山の夏。受験生といえども夏はだらけるもの。そこで磯谷は担任と相談し、『継続』に照準をしばる。夏40日間のうち2日を休日にあて、残り38日間、毎日12時間学習をスケジュール。午前中は得意の英語、午後は課題の国語、日本史にあてた。人生で最高に勉強した。

満を持して臨んだ8月の共通テスト模試。だが結果は思ったほどあがらない。『あれだけやったのに上がらない。なぜだ？』さすがに落ち込む。顔色がすぐれない磯谷をみるやいなや、担任は一言。『**努力を続ければ必ず成果はでる。夏の努力はやがて冬に現れる。それに成績はすぐにあがらなくても間違いなく実力はついている。**』

9月、夏と同じ学習時間が確保できた。体が覚えていたのだ。そして担任の言葉どおり、夏の『継続』が飛躍的な成果をもたらす。

10月の共通テスト模試。英語は180点を突破、日本史、国語も8割を突破した。そしてメンタルコントロールが重要な秋。

秋の東京6大学野球ツアー、大学対抗戦ラグビー観戦ツアー。大学生活がイメージできる。

12月の共通テスト模試は得点アップ。迎えた共通テスト本番。

直前はだれもが不安になるが磯谷には自信があった。

『俺はこの1年誰にも負けないくらい勉強した。夏の努力を思い出せば本番でどんなことがあってもやれる』

結果、共通テスト自己最高。共通テスト利用で専修、駒澤を合格。

第一志望法政合格。まわりの友人たちからは驚嘆の声があがった。

いま、磯谷は市ヶ谷のキャンパスで将来の自分をえがいている。